

## 式 辞

木々の緑が芽吹き、すべての生命あるものが生き生きと活動を始めるこの佳き日に、第三十六回入学式を開催できますことを大変うれしく思います。

ただ今、本校への入学を許可いたしました二百三十八名の皆さんは、本日から晴れて埼玉県立三郷工業技術高等学校の生徒となりました。入学おめでとうございます。

これまで大切に育てていただいたご家族への感謝の気持ちも忘れないでください。

さて、ここで、高校生活という新たな第一歩を踏み出す皆さんに三つのことを希望します。

ひとつ目は、高校生活を通して『自ら調べ、自ら考え、自ら判断する』そんな力と習慣をつけてほしい』ということです。今、私たちの生きている時代は激しく変動しています。AI、人工知能が進化し、将来的には現在人が行っている仕事の多くを人工知能が請け負うなどという話も聞いたことがあるでしょう。私たちに必要なのは、AIにはできない能力を身につけること。その礎となるのが「自ら調べ、自ら考え、自ら判断する」そんな力だと思います。新入生の皆さんには、本校での3年間において、ぜひ、何事に対しても自ら調べ、自ら考え、自ら判断する、そんな力と習慣を身につけてほしいと切に願います。

ふたつ目は、「夢に向かってチャレンジし続けて欲しい」ということです。皆さんはそれぞれの夢を持ち、この三郷工業技術高校へ入学してきてくれたことと思います。ぜひその夢に向かって3年間チャレンジし続けてください。本校の多くの先輩たちは、果敢にチャレンジを続けて資格を取るなど、社会に貢献できる立派な人材として巣立っています。何も無理なことをやりなさいというわけではありません。平凡なことを毎日続けることが大切なのです。「雨だれ石をうがつ」という言葉があります。「うがつ」とは穴を開けるという意味です。雨のしずくも、長い間には下にある石に穴を開けることができます。小さなことでも継続することで大きな結果につながるという意味です。皆さん、小さなことで構いません。夢に向かって3年間、努力をし続けてください。一日、一日の変化は目に見えなくても、一年経過してみれば成長している自分に気づくはずです。そして3年後には素晴らしい結果となって表れるはずです。

そして一番肝心な三つ目は、皆さんが安心して元気にのびのびと学校生活を送るということです。そのためには、本校生徒としての自覚と責任を持った行動が必要です。先に申し上げたふたつをしっかりと実践するうえで大切なことです。生活指導はそのためにあります。やらされるのではなく、自らを律する態度を身につけてください。また、相手を思いやる気持ちを忘れないでください。一部の生徒でも心を痛める者がいれば、それは悲しいことです。思いやりの心を持って学校生活を前向きに楽しんでください。

結びに、新入生の皆さんが本校において有意義な高校生活を送ることをあらためて切望し、式辞といたします。

令和二年四月八日

埼玉県立三郷工業技術高等学校長 石塚 貴久